

第11回シアターX_{カイ}国際舞台芸術祭IDTF2014

メイン・テーマ「古代のつくり噺／現代のつくり噺／未来のつくり噺」

プレ・シンポジウム

なぜか『古事記』が近年、注目され次回IDTFのメイン・テーマにも浮上。日本の歴史や日本人探求のため非常に興味ある書ではあるものの、世界中が「逆マンジ」模様の台頭する中、わがIDTF実行委員会でも熟慮熟考の末に「古代のつくり噺／現代のつくり噺／未来のつくり噺」のごときメイン・テーマが決まった。それゆえに IDTF恒例のシンポジウムにて、もっとも話を聞いてみたい方々として下記のお三方にご登場いただく。

土取利行 × 四方田犬彦 × ^{レオニード・}アニシモフ

(つちとり・としゆき)
パーカッション・ピエター・ブルック国際劇団で音楽監督、演奏家として世界各地で公演。同時にアジア、アフリカなどの民族音楽を探求。故・桃山晴衣と郡上八幡に立光学舎を創立、古代音楽の研究等に取り組む。近年では、添田唾蟬坊・知道等、明治大正の演歌の演奏・研究にも力を注いでいる。



(よまた・いぬひこ)
東京大学で宗教学を、同大学院で比較文化を学ぶ。建国大校客員教授としてソウルに赴いて以来、コロンビア大学、ポーランド大学、テルアヴィヴ大学、明治学院大学などで、映画史と日本文化の教鞭を執る。映画と文学を中心に、幅広い文化現象について批評。近著に『アジア全方位』『日本の漫画への感謝』。



(Леонид・Аниси-мов) 演出家。ロシア功労芸術家。2000年シアターX「俳優のためのマスタークラス2ヵ月」の講師。のちに東京ノーヴェ・レバートリーシアターの誕生につながり、同劇団の芸術監督に。第9回IDTF『チェーホフの鍵』より関わる。そもそもロシア人ながら『古事記』に興味を持ち、既に2014年秋の上演をめざして稽古中。次回IDTFにも古事記の短縮版で参加予定。



司会： 西田敬一
(IDTF実行委員・サーカス制作者)

2013年 **12** 月 **22** 日(日)

18:00～21:00

シアターX劇場にて (参加無料)

第11回シアターX_{カイ}国際舞台芸術祭IDTF2014

開催期間 2014年6月14日(土)～7月6日(日)

作品公募中! 申込締切 2014年1月15日
詳細はお問い合わせください